

「つながる子」に求められるもの

●「いつでも、どこでも、だれとでも、楽しめる力」

スポーツ少年団やスポーツクラブなど現代では多様な団体が、子どもにスポーツを楽しむ機会を提供し、恵まれた環境の中で、子どもたちはスポーツに親しんでいます。

さて、そのようなスポーツに慣れ親しんだ子どもが大人になって、野球をしたいと思つたとします。場所は公営グラウンドを借り、道具は各自で持ち寄るとしましょう。人集めは難易度が高く、仲間が近くにいるとは限りません。広く呼びかけ募るのが現実的でしょう。すると参加者は見ず知らずの大勢です。ここに「つながる力」を発揮する場面が生じます。大人になると、見ず知らずの大勢の中に身を置く場面は多くあり、たまたま居合わせた人とでも、初対面の人とでも互いが楽しくなるよう協調的に参加する必要があります。挨拶や返事、人の話を聞いたり人を気遣ったり、率先して行動することも大切でしょう。そして、その中で自分も楽しむのですから、何より大切なのは、それらを自然にふるまえるということでしょう。本校の「つながる子」のめざす一面です。

地域の方々と触れ合う中で優しく声をかけられ、嬉しい思いをした子に「つながる子」になるためのエネルギーが積みあげられているのを感じています。

●コミュニティとしての角山小学校

「コミュニティ」という言葉は本来、「居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会」として使われたようですが、時代と共に変化しており、インターネットの普及とともにオンライン・コミュニティのように居住地はあまり問わなくなっています。同じ目的をもつ人の集まりをコミュニティとして、よりよくするために相互に情報交換や情報共有をする考え方・機能を大切にしていることも多いようです。

本校は「特別指定小規模小学校」です。本校の特色ある教育環境・教育活動に理解があり、本校での教育活動を希望する岡山市在住の方であれば、就学時に学区の内外を問わず、角山小学校での学校生活を送る仲間として受け入れる学校です(人数制限は有ります)。

目的を同じくする人が居住地に関わらず集まり、つながることができることから、本校はコミュニティの機能をもつと考えています。ただ門戸を開くだけでなく、集まった人と角山小学校をよりよくし、集まった人が「明日もまた来たいな」、「角山はいいところだな」と思えるようにしたいと考えています。

学習発表会に向けて

本校の学習発表会は③つながる子のための行事として、その目標の一つを「地域の方や保護者と共に鑑賞したり、地域の方に感謝の気持ちを伝えたりすることで、郷土への愛着を深められるようにする」としています。

今年のスローガンは、保護者の方や地域の方も感動できるような発表会にしようという思いを込めて、「全員が感動するような 一生の思い出に残る発表会にしよう」と子どもたちで考えました。6年生は校内放送で下級生に「歌も合奏も私たちが引っ張っていこうと思うので、ついてきてください!」と力強く宣言しました。 只今、練習中です!



修学旅行(10/11,12)

6年生が奈良・京都への1泊2日、御休小学校と連合で修学旅行に行きました。

11日は法隆寺、奈良公園、平城宮跡歴史公園、京都泊で12日は清水寺、二条城、鹿苑寺、西陣織会館(西陣織体験)、太秦映画村へ行きました。天気に恵まれ、混雑もなく、比較的ゆったりと見学・体験ができました。中学校で仲間となる御休小学校とも仲良くなれました。

修学旅行は、最近では学校ごとに入札を行い、受注型企画旅行として旅行会社と契約し、実施します。以前に比べて旅行費用が高くなりがちで、小規模校では特にそのような傾向があります。家族旅行のようにキャンセル料が必要な場合もあり、団体旅行であるが故にキャンセル料がかかる場合があります。保護者の方に多くの負担をお願いすることになるため、旅行についての説明もできるだけ早くから行い、参加の意思確認も行わせていただいています。



11月の予定

日	曜日	予 定
1	金	社会科・生活科見学
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	
6	水	上道中職場体験(～8日)
7	木	委員会⑦
8	金	稲刈り体験(変更有)
9	土	
10	日	
11	月	◆児童朝会
12	火	
13	水	集金日(PTA会費有)
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	学習発表会・角山振興まつり 家庭の日(毎月第3日曜日)
18	月	振替休業日
19	火	
20	水	避難訓練(不審者対応) ローラースケート練習
21	木	クラブ⑥
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	◆児童朝会 スクールカウンセラー
26	火	保護者相談日・一斉下校14:50 ローラースケート練習
27	水	保護者相談日・一斉下校14:50
28	木	保護者相談日・一斉下校14:50
29	金	ローラースケート大会 ボランティア交流会
30	土	



こども虐待防止の オレンジリボンキャンペーン

オレンジリボンには、こども虐待の現状を知っていただき、こども虐待をなくしていこう、こどもを救うため一人ひとりにできることを考え行動しよう、そして虐待を受けたこどもたちが幸福になれるようにとの願いが込められています。

こども家庭庁では児童虐待防止法が施行された11月を「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間としており、民間・地方自治体・国が連携したオレンジリボンキャンペーンが全国的に広がっています。



○問合せ○岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 TEL 803-1223